

兵庫 県協
保険 医協

西宮 芦屋

支部 ニュース

No. 300

2011・11・15

発行 662
-0074

兵庫 県保
險医 協会
西宮市 石劔町 十八ー八

大森 内科 医院 内
西宮・芦屋 支部
電話 〇七八(三九三)一八〇一

支部設立30周年記念のつどい

支部のさらなる発展に尽力したい

10月22日、西宮神社社会館で、西宮・芦屋支部設立30周年記念のつどいを開催。西村喜子先生のヴァイオラ・ダ・ガンバの演奏と実行委員長の幸原久先生(芦屋市・幸原小児科・内科医院)、支部長の大森公一先生(西宮市・大森内科医院)の挨拶の後、法貴憲先生(西宮市・法貴皮膚科)と広川恵一先生(西宮市・広川内科クリニック)の司会の下で会員交流を行い、森下敬司先生(西宮市・森下医院)をはじめ歴代の世話人の先生や支部関係者が支部の歴史や思い出などを交流しあった。また東京大学大学院薬学系研究科講師(准教授)の池谷裕二先生を講師に招いた市民公開講演会「脳を知って 脳を活かす」には会員・市民ら150人が参加した。公開講演会で司会を務めた谷端美香先生(芦屋市・高橋歯科医院)の感想文を掲載する。

今回、「西宮・芦屋支部設立30周年記念のつどい」に司会として参加させていただきました。司会をはじめのことで緊張しておりましたが、広川先生をはじめ他の先生方や、保険医協会の方のやさしいお言葉でなんとか無事に終えることができました。

市民公開講演会講師の池谷先生による「脳のゆらぎ」の仕組みや、「脳の反射力」を鍛えることの大切さについてのお話は大変面白く、また関心いたしました。西村喜子先生のヴァイオラ・ダ・ガンバの楽器演奏ももう少したくさん聞ければと思います。

池谷先生は私は無知のため存じあげなかったのですが、後日新聞で拝読し、著名な方と改めて感じ入った次第です。翌日の「支部設立30周年記念いも掘り大会」にも子どもと共に参加し、大変楽



会員交流で支部設立の歴史について語る森下先生



はじめて司会を務めた谷端先生



挨拶する実行委員長の幸原先生(左)と支部長の大森先生(右)



設立30周年記念ブルゾンの紹介をする司会の広川先生(左)



ヴァイオラ・ダ・ガンバを演奏する西村先生



市民公開講演会で最先端の脳の研究について語る池谷先生

支部設立 30 周年記念ブルゾン 会員特別販売のお知らせ

西宮・芦屋支部では設立30周年を記念し、記念ブルゾンを作成いたしました。通気性が良く収納ポケットも多いため、救急の際や普段の往診などにも大変便利なブルゾンとなっております。ぜひこの機会にお買い求めください!

【会員特別価格】6,000円

お申し込みは協会事務局 078-393-1803 まで



世話人会だより

西宮・芦屋支部は10月28日に西宮医療会館で世話人会を開催。6人が参加した。

【報告】

- ① 病診連携勉強会 (10・14)
- ② 西宮・芦屋支部設立30周年のつどい (10・22)
- ③ 支部設立30周年記念いも掘り大会 (10・23)

【予定・企画】

- ① 英語で診療#31 (11・18)
- ② 第28回在宅医療研究会 (11・26)
- ③ 第10回胸部X・P読影会 (12・2)
- ④ 第27回漢方研究会 (12・3)
- ⑤ 2012年診療報酬改定・介護報酬改定研究会 (3・22)
- ⑥ 財政と医療制度の勉強会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

しい二日間を過ごせました。今後も西宮・芦屋支部がさらに発展されますよう、私も少しでもお力になればと思いました。
【芦屋市・高橋歯科医院 谷端 美香】

設立30周年記念いも掘り大会

いも掘りで心と体リフレッシュ

10月23日、西宮市・仲農園で設立30周年記念いも掘り大会を開催。医師・市民ら60人が参加した。参加した方々からの感想文を掲載する。

文化部の甲山ウオークの後、いも掘りをさせていただく仲農園に向かいました。仲農園で昼食を摂り、その際に、ご馳走になった豚汁とスイートポテトはとても美味しかったです。いもの品種は鹿児島島の紅あかりというそうです。いも掘りは、選んだ株にどれだけのいもがあるかまた大きさがどうかというのは、どうも日頃の行いがでてしまうようです。私は残念ながら、すこし小ぶりのいもで



参加者といも掘りを楽しむ加藤隆久副支部長

したが、とても大きくて沢山採れている方もいて羨ましかったです。いものツルも美味しいと知り驚きました。楽しく体を動かして心と体をリフレッシュできた1日でした。
【西宮市・児玉内科醫院 阪上友梨】

病診連携勉強会

膝痛辛抱する時代ではない

10月14日、西宮渡辺病院で病診連携勉強会を開催。「膝の痛み」予防から最新手術まで」をテーマに、同病院人工関節センター長の福岡慎一先生が講師を務め、医師・看護師ら19人が参加した。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

出かける間に、雨が激しく降り出した。近頃の天気予報はよく当たる。私の医院へ来られる患者さんの中には、膝痛を訴えられる方は少なくない。新しい治療についての知識を仕入れるべく、雨の降りしきる秋空の下、講演会場へ急いだ。

紹介があった。同席された佐々木健陽副院長ともども強調されたのは、「痛みは辛抱するものではない」ということだった。

同センターでは、膝人工関節置換術の際に患者さんの自己血を用い、入院期間は2〜3週間で、手術翌日から歩行練習を行なう。術後は永年の痛みから解放されるばかりでなく、海外旅行にも、ゴルフ・テニス(ただしダブルス)・ハイキングなどのスポーツも楽しめる、とのことだ。人工関節の材質と手術法の進歩のお陰で、人工関節を入れ替えるための再手術を心配することとはなくなった。

ここ西宮渡辺病院では、2009年4月から西宮人工関節センターを立ち上げて、股関節・膝関節の痛みや変形の患者さんに対応しているという。センター長の福岡慎一先生が本日の講師である。予防、保存治療、そして最新の手術法についてのわかりやすい



西宮渡辺病院の人工関節置換術について
画像や動画を用いて解説する福岡先生

残りの少ない人生だからこそ、痛みから解放された日々であってほしい。人それぞれに人生哲学があるうが、保存療法に限界が見えたなら、ためらわずに人工関節を選択してよい。もはや、痛む膝を抱えてADLの損なわれた不自由な生活を辛抱する時代ではない。そう想いながら、降り止まぬ雨の中を帰路についた。
【西宮市・てい外科胃腸科 鄭 漢龍】

第28回在宅医療研究会

日時 11月26日(土) 15時~17時半

会場 西宮神社会館2階「福・寿の間」
西宮市社家町1-17 TEL0798-23-3311

- 講演① 「ひとり暮らし高齢者の食生活と身体計測値」
武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科 准教授 谷野 永和 先生
- 講演② 「口腔ケアのいろはの“い”」
ナチュラルスマイル会・児玉歯科医院 院長 児玉 秀樹 先生

第10回胸部X-P読影会

日時 12月2日(金) 20時~

会場 西宮渡辺心臓・血管センター

特別講演: 「気管支喘息の増悪時期における管理と治療」

講師: 尼崎市・はら内科クリニック 原 秀樹 先生

特別講演の後は参加の先生に持ち寄っていただいた胸部写真の検討会を行います。検討したい胸部写真をご持参ください。

症例のお持込みを歓迎いたします!

第27回漢方研究会

【日時】 12月3日(土) 17時~19時

【会場】 西宮神社会館2階「福・寿の間」
西宮市社家町1-17 TEL0798-23-3311

【テーマ】

「漢方治療はまず冷えから
~冷えによる諸疾患の漢方治療~」

【講師】 東灘区・いが漢方内科 金のさじ診療所
伊賀 文彦 先生